

2026

富山銀行IR説明資料 Bank of Toyama IR Report

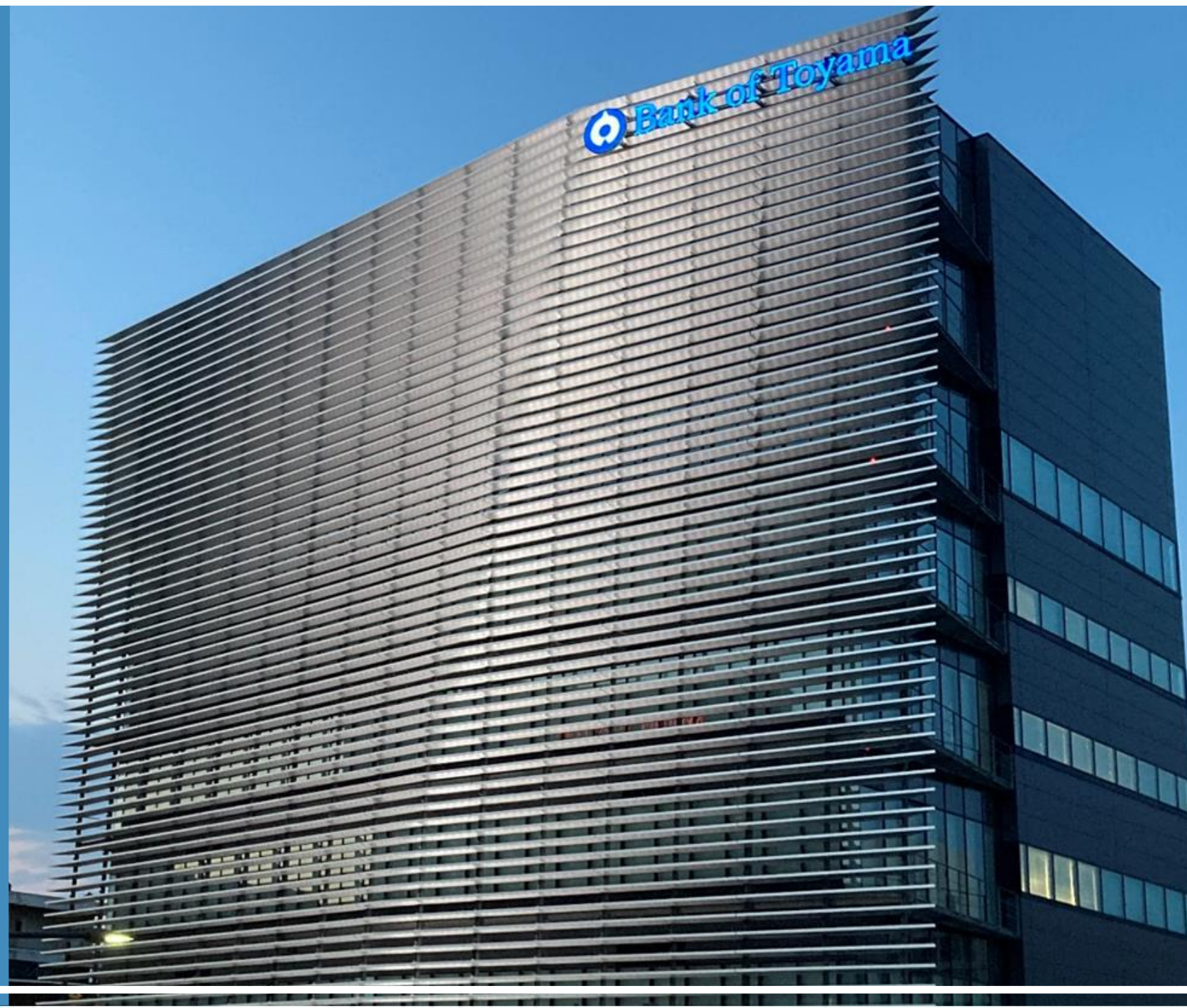
東証スタンダード市場
コード番号：8365

<https://www.toyamabank.co.jp/>



Change & Challenge

富山銀行



1 富山銀行の概要

富山銀行のプロフィール	3
第5代目頭取 中沖 雄	4
富山銀行のパーパス	5
富山銀行の歩み	6

2 経営戦略

経営環境の変化に合わせ、第7次中期経営計画を見直し	8
第7次中期経営計画～新しい4つの重点戦略とKPI～	9
株式会社Plan・Do・Seeと資本業務提携を締結	10
多様な外部プレーヤーとのアライアンスを強化	11
豊富なビジネスマッチング提携先	12
プロスポーツチームと連携した独自の預金商品を展開	13
ライフサイクルに寄り添った特色ある預金商品を投入	14
外部環境変化への迅速な対応	15
「長期・積立・分散」投資のご提案	16
とやま保険プラザの展開	17
DX推進によるサービスの拡充	18
個性を発揮できる職場環境への取り組み	19
イメージCMをリニューアル	20

3 地域活性化と社会貢献への取り組み

富山県初の高級鮭オーベルジュ開業を支援	22
官民との連携によるサステナビリティへの取り組み	23
金融仲介機能の発揮による地域活性化に向けた取り組み	24～25
次世代を担う人材育成への取り組み	26
自然環境保全への取り組み	27
地域社会への貢献	28

4 2026年3月期決算概要

業績概要	30
利益の推移	31
経費の推移	32
資本額・自己資本比率の推移	33
預金の推移	34
貸出金の推移	35
有価証券の推移	36
不良債権の推移	37
株主配当の状況・推移	38
企業価値向上に向けた取り組み	39～40

1

富山銀行の概要



1 富山銀行のプロフィール

創 業：1954/02/01

本店所在地：富山県高岡市
下関町3番1号

資本金：6,730百万円

店舗数：39店舗

従業員数：326人

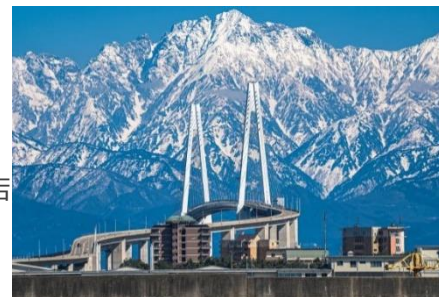
※2026/03現在



高岡市

本店営業部
鴨島支店
横田支店
駅南支店
野村支店

成美支店
旭ヶ丘支店
福岡支店



射水市

新湊支店
小杉支店



石川県金沢市

金沢営業部



砺波市

砺波支店
砺波チューリップ支店
庄川支店

氷見支店

石動支店

入善支店

黒部支店

滑川支店

魚津支店

上市支店

立山支店



南砺市

井波支店
福光支店
福光中央支店
城端支店



富山市

富山支店
中島支店
諏訪川原支店
大沢野支店
新庄支店

五福支店
柳町支店
婦中支店
堀川支店

富山駅前支店
不二越町支店
奥田支店
八尾支店

<略歴>

1962/07	富山県富山市出身
1986/03	東京大学経済学部卒業
1986/04	株式会社日本興業銀行 (現 株式会社みずほ銀行) 入行
1990/08	同行 ニューヨーク支店
1991/08	同行 企業金融開発部
2002/09	みずほ証券株式会社ストラクチャード ファイナンスグループ不動産投資銀行部長
2013/04	同社 執行役員 投資銀行部門営業担当
2016/04	同社 執行役員 グローバル投資銀行部門担当
2019/03	同社 執行役員退任
2019/06	株式会社富山銀行入行 企業金融部長 同行 常務取締役 企業金融部長
2020/05	同行 代表取締役頭取 高岡銀行協会 会長



地域を愛し、お客さまに常に寄り添い続け、 最も頼りにされる銀行を実現します

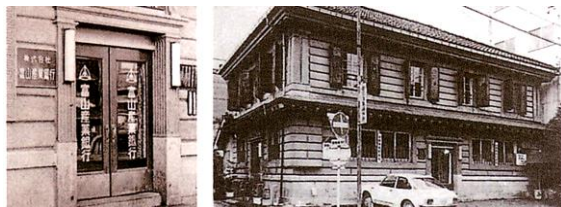
私たちを取り巻く社会構造や金融環境の変化など、さまざまな課題に対して向き合いながら、強いレジリエンスを発揮し、地域の皆さまになくてはならない銀行であり続けるためにそして、未来に向かって力強く変革し、より皆さまに信頼され続ける銀行であるために富山銀行は、皆さまと共に躍進し、新たな価値を共創していきます
すべては、愛する地域とステークホルダーの皆さまのために 富山銀行は挑戦し続けます

1 富山銀行の歩み



Change & Challenge

富山銀行



1954/02
富山産業銀行営業開始
資本金1億円
初代頭取 米田元吉郎
1954/08
井波信用金庫を吸収合併



1993/06
3代目頭取 高柳卓三
1993/11
名古屋証券取引所市場第二部に上場
資本金を28億円に増資



2015/10
東京証券取引所市場第一部に上場

2022/04
東京証券取引所
スタンダード市場

2025/11
株式会社Plan・Do・See
と資本業務提携



1964/02
旧高岡共立銀行に本店を
移転

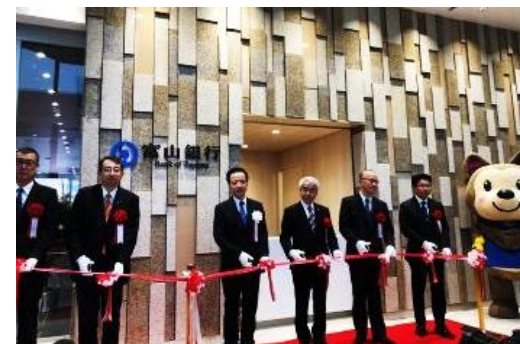
2009/06
4代目頭取 齊藤栄吉

2024/02
創立70周年
地域とともに お客さまとともに



2020/05
5代目頭取 中沖雄

2019/11
新本店ビルの移転新築



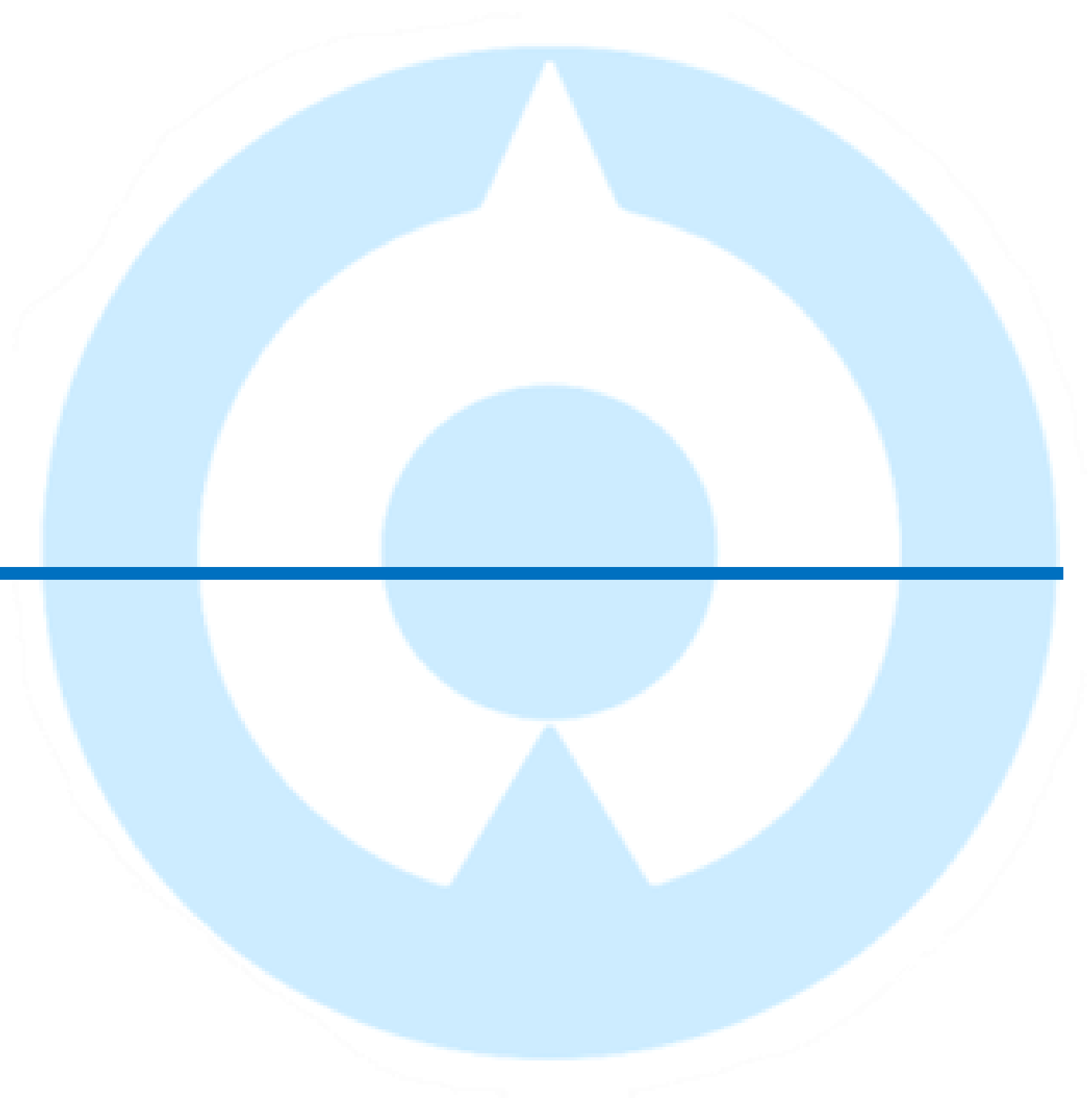
2014/02
創立60周年
2014/10
東京証券取引所市場第二部
に上場



1967/08
富山銀行に行名改称
1972/05
2代目頭取 米田寿吉

1954/02 1964/02 1967/08 1993/06 2009/06 2014/02 2015/10 2019/11 2020/05 2022/04 2024/02 2025/11

2 経営戦略



第7次中期経営計画「Change & Challenge」

(計画期間：2024.4～2029.3)

始動3年目を迎えた第7次中期経営計画「Change & Challenge」につきまして、昨今の急速な経営環境の変化をさらなる飛躍への好機と捉え、攻めの姿勢を反映した戦略的な修正を行いました
これにより、持続的な成長と資本効率の向上を図り、経営基盤をいっそう強化してまいります

第7次中期経営計画の全体像



Purpose「存在意義」

地域を愛し、お客さまに常に寄り添い続け、
最も頼りにされる銀行を実現します

Our Value「企業価値」

私たちの強みである“傾聴力・誠実さ・機動力”を発揮し、
地域やお客さまの課題解決を通して、ステークホルダーの皆さまから
信頼され、必要とされ続ける～それが、私たちの考える企業価値です

Strategy「戦略」

第7次中期経営計画「Change & Challenge」を具現化し、
未来への変革ドライバーとなる新しい4つの重点戦略を策定しました

NEW

新しい重点戦略 ～環境の変化を踏まえた戦略の見直し～

①金利ある世界での
収益構造の転換②企業支援を通じた
地域金融力の強化③組織・DX改革による
経営効率の追求④効率的かつ実効性ある
ガバナンス態勢の確立

各ステークホルダーを意識し、共通価値の創造を実現するためのKPI（重要達成指標）

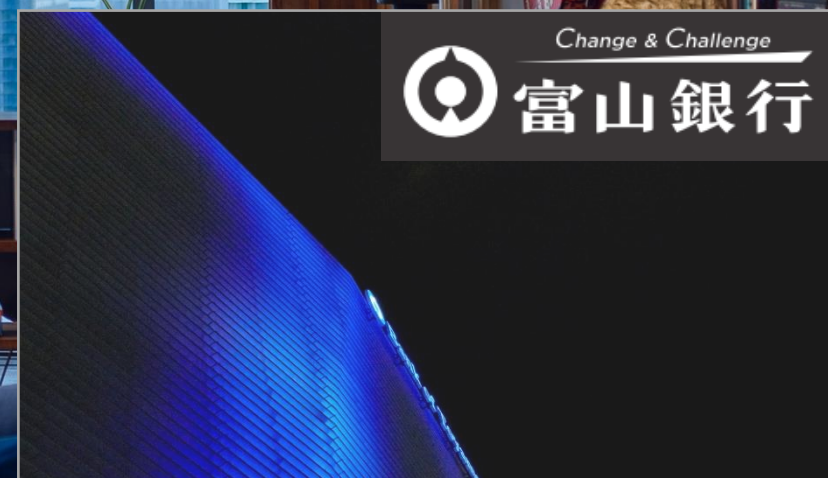
	項 目	2028年度目標
地域のために	事業承継コンサルティング件数	累計1,000件（2024年度～2028年度）
お客さまのために	NISA残高増強	80億円以上
	相続関連相談会・職域金融セミナーの開催	年間50回以上
行員のために	外部研修派遣者数	累計45名
株主の皆さまのために	コア業務純益（除く投信売却益ベース）	16億円以上

NEW

新たに設定

2025年11月に、国内外でホスピタリティ事業を展開する株式会社Plan・Do・Seeと資本業務提携を締結
北陸エリアにおける「地域の誇りとなる拠点」の創出や発信力強化を通じ、地域経済の活性化を図る

地域の成長を共に創る
富山県をはじめとする北陸エリア等において
ホスピタリティ拠点を中心とした、持続可能な街創りモデルの構築を目指す



2 多様な外部プレイヤーとのアライアンスを強化

アライアンスを拡充し、先進的かつ質の高いサービスと多面的なソリューション提供を目指す

- 永続企業支援 -

株式会社フィーモ

創業家企業の永続的な成長・発展を目的とした「家族憲章」策定等の永続企業支援サービスを提供します



- 人材確保支援 -

株式会社Asian Bridge

人材確保のニーズに対し、インターンシップを活用した人材紹介サービスを提供



- サイバーセキュリティ -

株式会社レオンテクノロジー

IT化に伴うセキュリティ強化のニーズを有する先に対し、セキュリティの脆弱性の診断等のサービスを提供



- ITソリューション -

株式会社YAMABE

企業のIT化へ向けた取り組みならびに設備導入から補助金申請支援の一気通貫サポートを提供



2 豊富なビジネスマッチング提携先（2026年5月現在）

提携先を充実させ、多様なニーズに対して質の高いサービスでお応えできる体制を構築

不動産関連業務 27先

不動産売買仲介
不動産小口化商品
土地・建物売買・賃貸借
賃貸住宅一括借上 等



リース業務 9先

オペレーティングリース
ファクタリングサービス
自動車リース
設備機器等のリース 等



企業・人材 紹介業務 14先

人材紹介
人材派遣業務
スカウト事業
顧問先の紹介 等



太陽光・省エネ 関連業務 10先

太陽光発電事業
太陽光発電投資
LED照明
省エネ診断 等



コンサルティング 業務 27先

医療介護
販路開拓・広告戦略
相続・事業承継
助成金・補助金 等



その他の業務 63先

永続企業支援、情報セキュリティ、
コインランドリー出店、福利厚生支援、
貿易保険、結婚相談所事業サービス、
天候デリバティブ取引 等

2 プロスポーツチームと連携した独自の預金商品を展開



Change & Challenge

富山銀行

地域のプロスポーツチームと連携した預金商品を開発し、スポーツ振興を通じた地域経済の活性化を図る



好評お取り扱い中！

富山ドリームス
応援定期積金



出産や就職・退職など、皆さまのライフイベントに寄り添った預金商品を投入し、資産形成を支援

個人のお宮さま21歳
お1人様1口座まで

ハッピータイム

©チューリップテレビ

ハッピータイム預金

「始める世代」

「繋ぐ・託す世代」

富山銀行 年金受給者専用定期預金

とやまプレミアム年金定期

特別金利

スーパー定期・大口定期預金 **1年 0.650%**
(税引後 年0.517%)

※上記税引後利率は復興特別所得税の課税を考慮した20.315%（国税15.315%、地方税5%）で計算しています。
なお税引後利率は目安であり、小数点第4位以下を切り捨てて表示しています。
(2026年4月1日現在)

とやま給与振込定期預金

特別金利

1年 0.650%
(税引後 年0.517%)

※左記税引後利率は復興特別所得税の課税を考慮した20.315%（国税15.315%、地方税5%）で計算しています。
なお税引後利率は目安であり、小数点第4位以下を切り捨てて表示しています。

「育てる世代」

「守る・活かす世代」

退職金専用

とやまセカンドステージプラム
(定期預金プラン)

この上乗せ金利は、新規お預け入れ時、1回のみとさせていただきます。

スーパー定期(3ヶ月もの)

年 0.50% (税引後 年 0.398%)

2 外部環境変化への迅速な対応

外部環境の変化に応じた特別相談窓口を迅速に設置し、皆さまの経営の安定に寄り添う

相談窓口開設事例



中東情勢の緊迫化



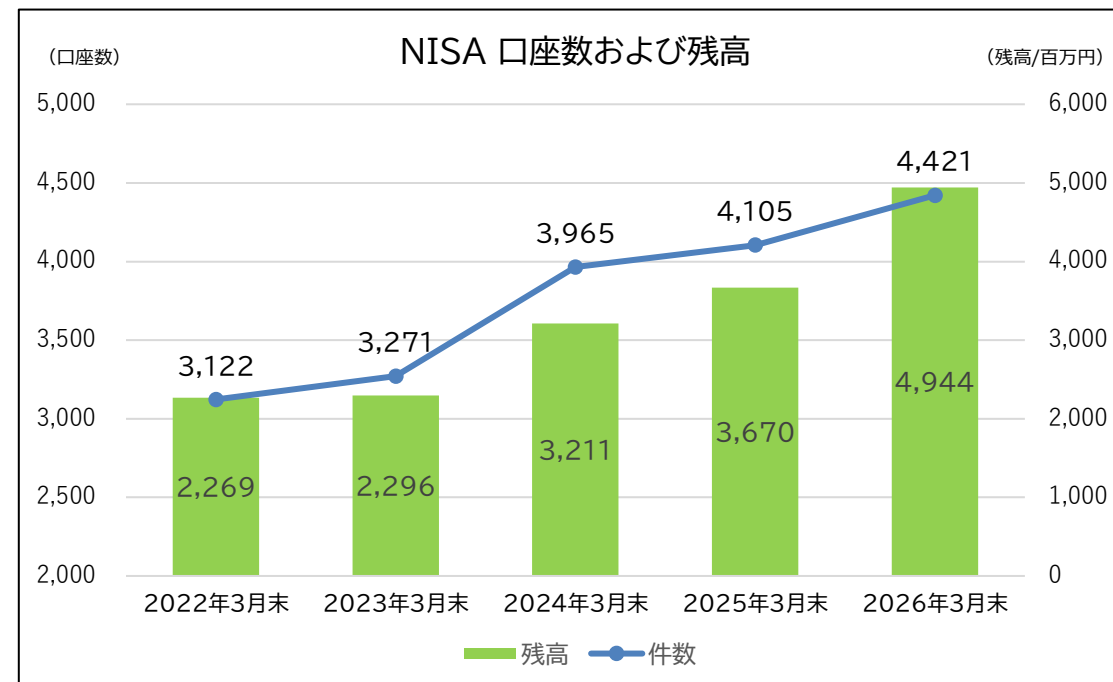
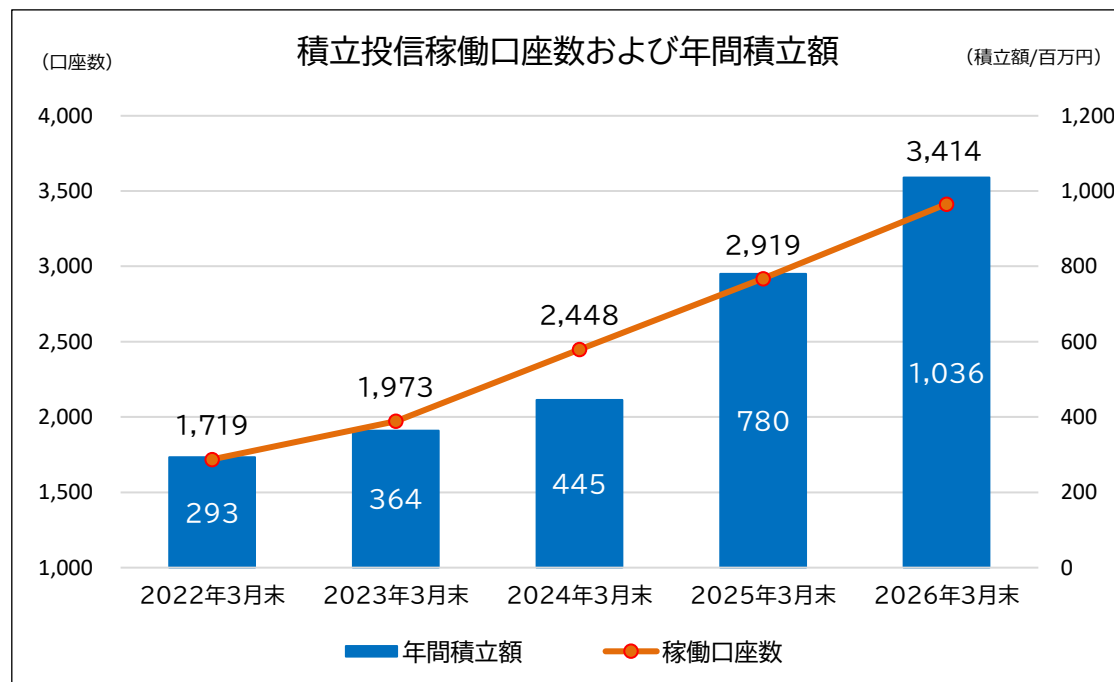
米国関税措置



自然災害被害

NISAを活用した「長期・積立・分散」投資のご提案を進めるため、第7次中期経営計画のKPIとして新たに「NISA残高増強」を設定し、全行的に取り組む

- ・ 将来に向けた安定的な資産運用・形成の実現に向け「NISA制度」「NISAつみたて投資枠」を活用した「長期・積立・分散」投資をご案内しております
- ・ お客さまの「長期・積立・分散」投資に対するニーズは高く、積立投信の稼働口座数および年間積立額は、NISA口座数とともに年々増加しております



証券分析AIを活用した新システムを導入し、県内2店舗で専門的な保険コンサルティングを展開中

<とやま保険プラザご利用の流れ>

✓ Step1

ご来店いただき、お客さまのお悩み、ご要望をお聞きます

✓ Step2

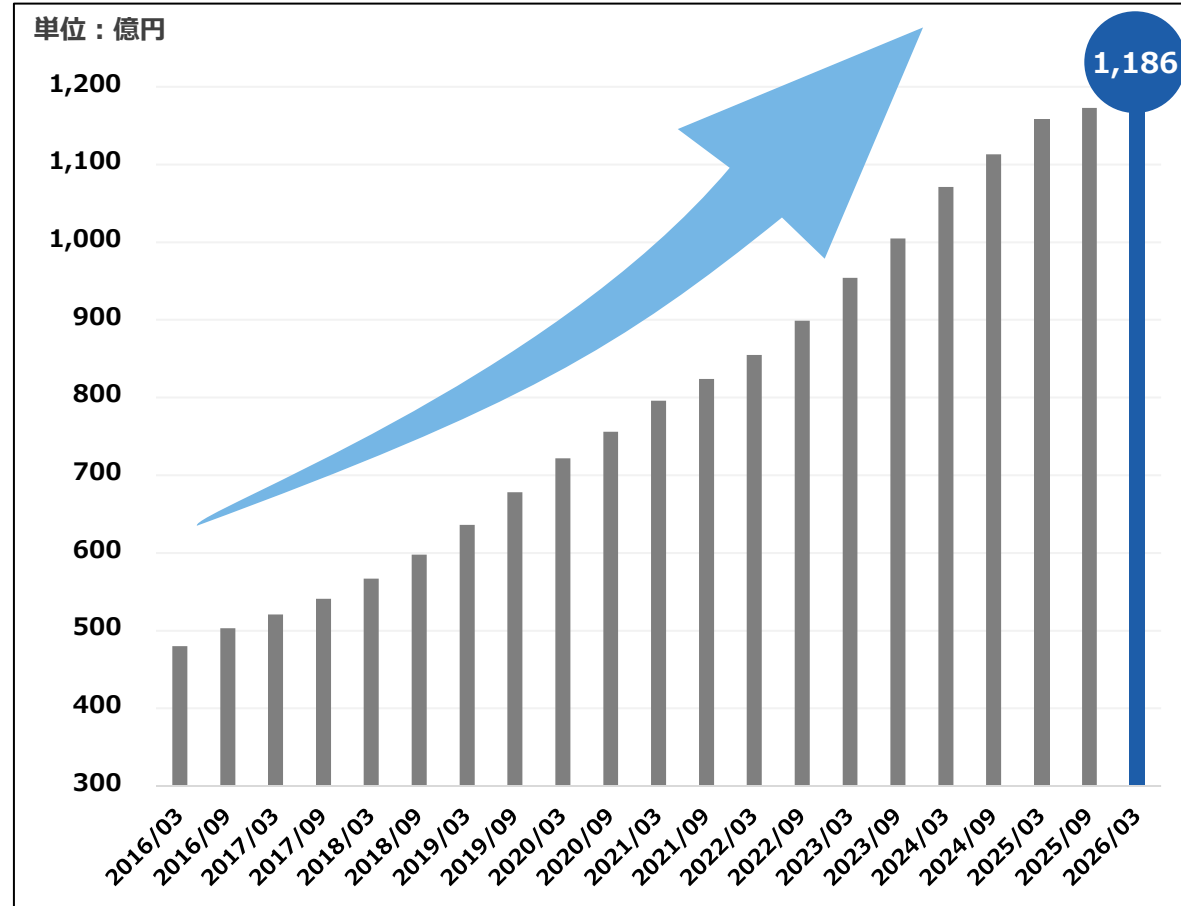
ご相談内容からどのくらいの保障が必要かを算出
問題点があれば内容を詳しくご説明します
問題点が無ければそのままOK！

✓ Step3

ご依頼・ご要望に応じて、保険の最適なプランをご提案いたします



■ 富山銀行における個人保険払込保険料残高推移※



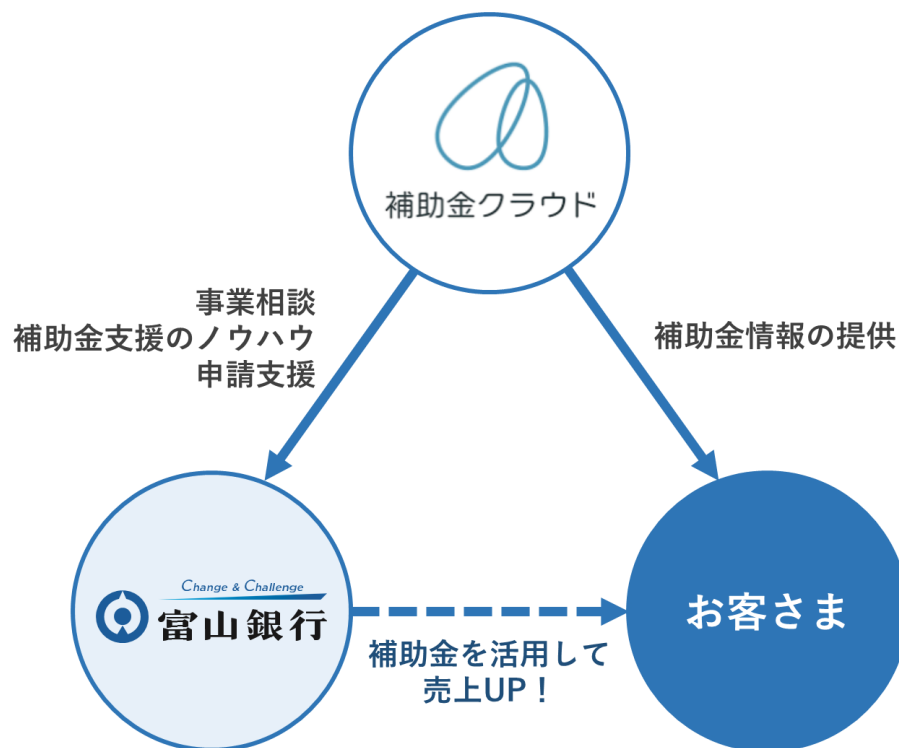
※個人保険は払込保険料ベース、外貨建て年金は円換算額
解約分の払込保険料も含む

2 DX推進によるサービスの拡充

デジタル技術により、コンサルティングの高度化と顧客利便性の拡充を推進

「補助金クラウド」による経営支援の進化

AIを活用した最適な補助金提案により、ソリューションの専門性を向上。タイムリーかつ付加価値の高い情報提供を通じ、企業の設備投資や事業拡大を支援



新サービス「とやまスマートダイレクト」の開始

24時間利用可能な残高照会・入出金明細確認サービスをリリース。利用料無料・Web完結の利便性を提供し、個人のお客さまの快適な資産管理をサポート



わざわざ銀行の窓口へ出かけなくても、お客様のスマートフォン、タブレットおよびパソコンから各種照会などのサービスがご利用いただけます。

全役職員一人ひとりが個性を発揮できる職場環境をつくり、人財価値の向上を目指す

プロフェッショナル人材の採用

課題解決に向けプロフェッショナル人材の中途採用を積極的に実施

＜全行員に占める割合＞

（目標）2030年：18%

ダイバーシティ & インクルージョンの更なる推進強化

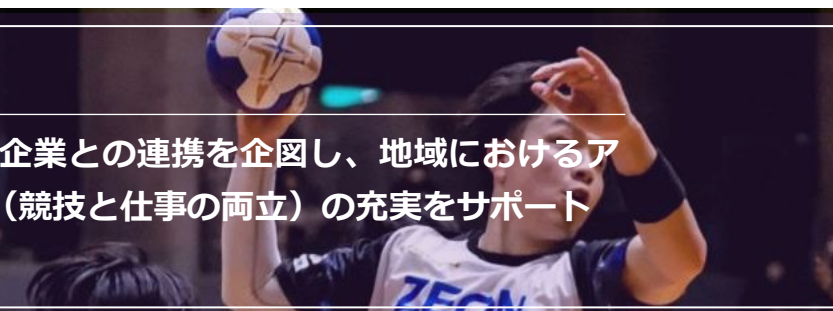
女性支店長の積極登用などダイバーシティ推進

＜総合職の女性人数＞：2028年3月末に総合職に占める女性割合が21%以上になることを目指す
育児休業取得率100%の維持を目標とした「女性活躍推進法に基づく第IV期行動計画」を策定

「アスリート採用」の継続

地域のプロスポーツチームやスポーツ関連企業との連携を企図し、地域におけるアスリートの発掘や本人のデュアルキャリア（競技と仕事の両立）の充実をサポート

2026年6月末現在 アスリート採用者は5名



2 イメージCMをリニューアル

2025年12月にイメージCMの放送をリニューアル。当行オフィシャルパートナーのテノール歌手・澤武紀行氏が、利賀芸術公園の野外劇場を舞台に「君はわが心のすべて」をダイナミックに歌い上げる

澤武 紀行（さわぶ のりゆき）

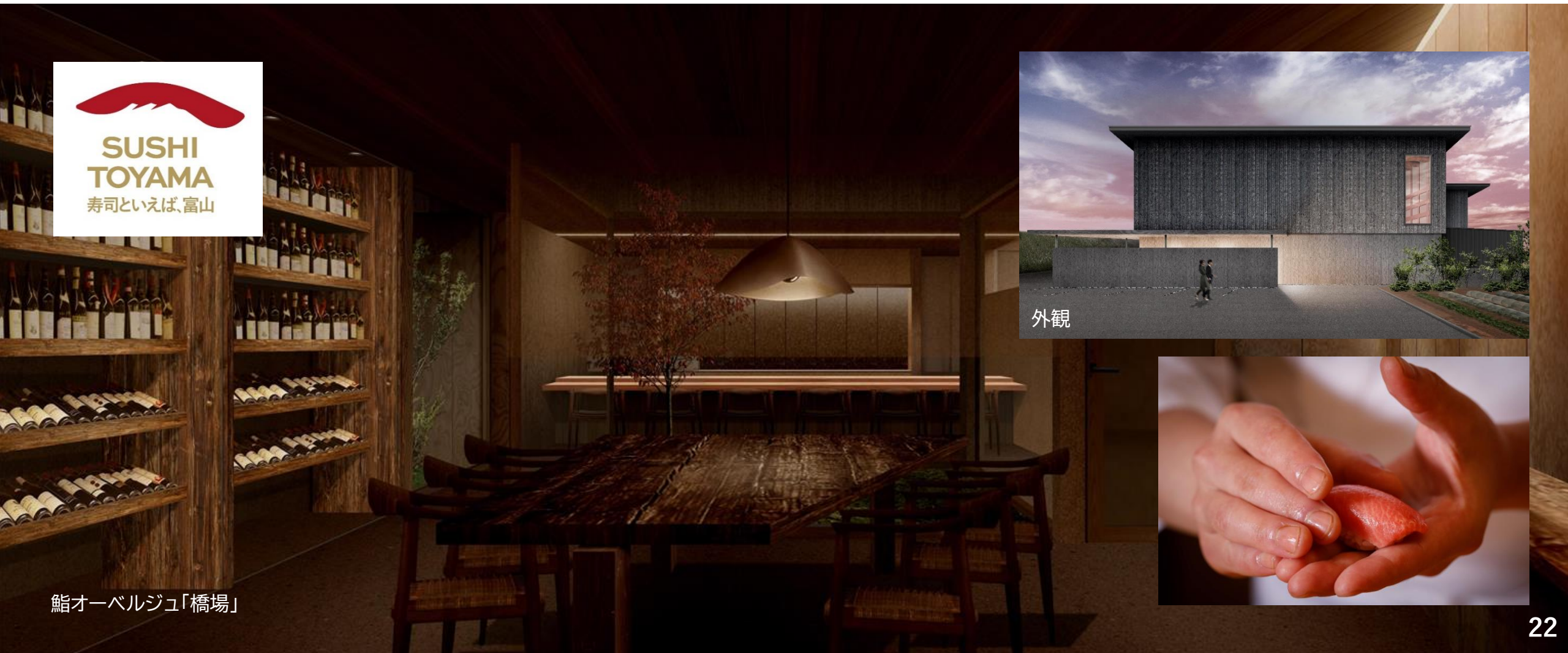
- ・ 富山県射水市出身
- ・ 国際ロータリー財団親善奨学生として渡欧後、モーツアルテウム音楽大学在学中より演奏活動を開始
- ・ ベルリン国立歌劇場、リンツ州立劇場、ドイツ フォアポンメルン州立劇場（専属歌手契約）、ハッレ歌劇場、ノイエオーパー・ウィーン等のヨーロッパ各地の劇場、音楽祭に出演



3 地域活性化と社会貢献への取り組み

3 富山県初の高級鮭オーベルジュ開業を支援

「寿司といえば、富山」に賛同のうえ、県内初となる鮭オーベルジュ「橋場」の開業を支援
国内外の美食家が、その土地の食文化に触れることを目的とした観光「ガストロノミーツーリズム」を後押しする



外観



鮭オーベルジュ「橋場」

2026年2月に、高岡市、北陸電力と「脱炭素推進連携に関する協定」を締結

2026年夏より、北陸電力グループ初となる「リユースパネル活用型太陽光オフサイトPPA」を導入し、
「高岡市脱炭素先行地域」のロールモデル確立を目指す

スキーム図



協定締結式の模様



お客さまの役に立つタイムリーで質の高い情報を発信し、課題解決を支援

新入・若手社員セミナー



地域企業の人材育成を支援するため、外部講師を招いた新入・若手社員向けの合同セミナーを開催

金井 政明氏（良品計画顧問）特別講演会



地域企業の経営課題解決の一助とするため、株式会社良品計画顧問の金井 政明氏をお招きし、特別講演会を開催

企業の代表的な経営課題である人材確保を支援し、「地域金融力」を高める

人材支援

- ✓ アスリート人材の採用マッチング
- ✓ 富山“Re-Design”ラボ
- ✓ 職業紹介サービス



深刻化する人手不足に対し、多角的なソリューションの提供を通じ、地域金融機関ならではの強みを活かした人材支援を展開

アスリート就職相談会



アスリート人材と県内企業のマッチング相談会を開催
アスリートのキャリア支援と地元企業の採用課題解決を推進

3 次世代を担う人材育成への取り組み

SDGs目標「質の高い教育をみんなに」をテーマとして、次世代を担う「人財」への金融経済教育を実施

「包括的連携協力に関する覚書」に基づく
地元の大学に対する寄附講義の開講



富山大学ならびに高岡法科大学との間で寄附講義「銀行論」の開催し、次世代の人材育成に取り組む

「社会に学ぶ14歳の挑戦」の受け入れ



「社会に学ぶ14歳の挑戦」の受け入れを毎年実施

3 自然環境保全への取り組み

地域社会の一員として、全役職員を挙げて社会貢献につながる行事への参加やボランティア清掃活動を実施

全店一斉ボランティア清掃活動



自然環境保全活動



「富山県自然博物館ねいの里」にて、
新入行員を中心としたボランティアを実施

7月～8月の期間を「ボランティア月間」とし、各店ごとにボランティア清掃を実施



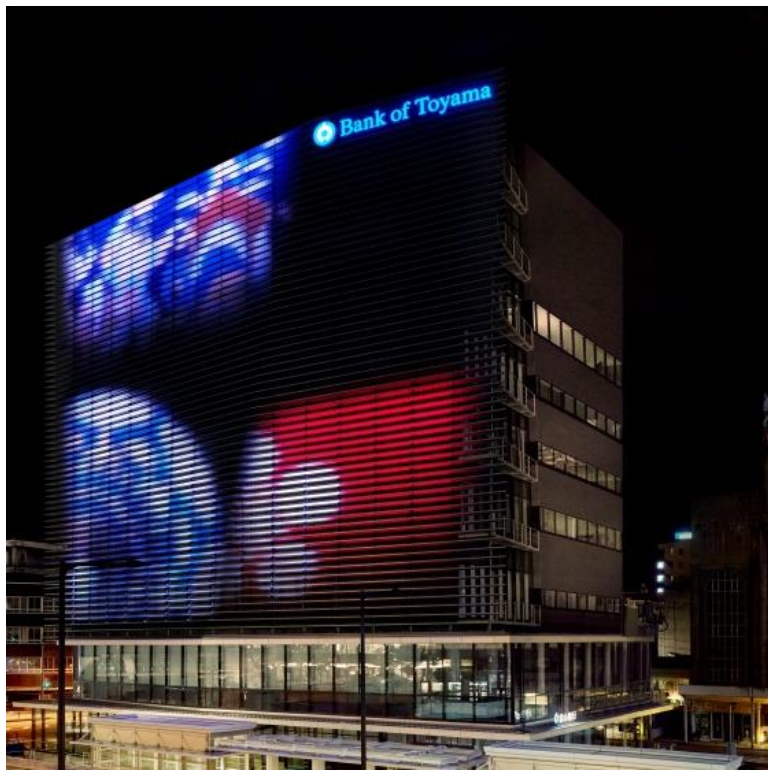
「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」
提言への賛同を表明

TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

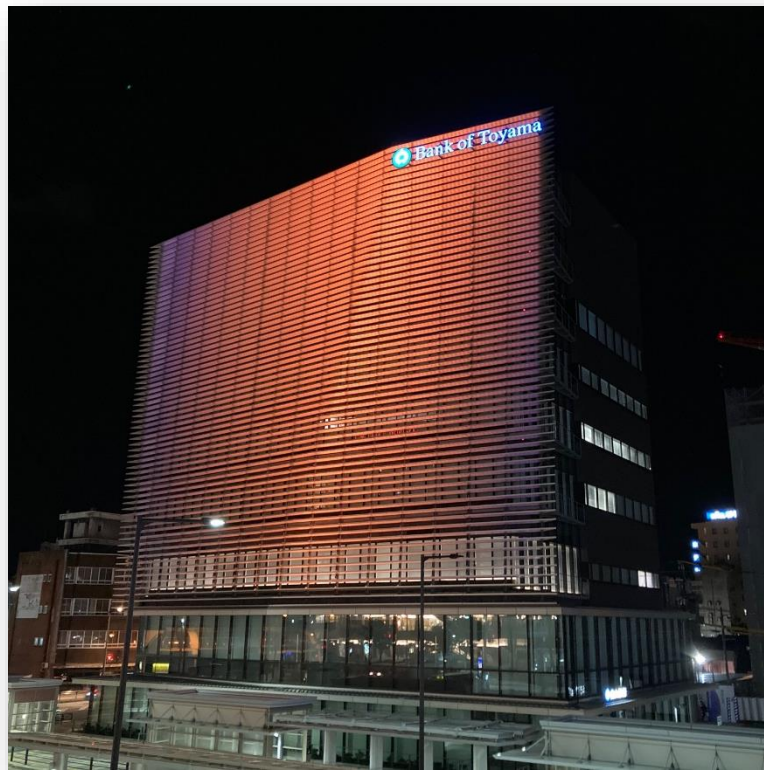
金融市場安定化の観点から、2015年に金融安定理事会（FSB）の下に設置された企業の気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する作業部会。
各企業が気候関連のリスクと機会を評価し、経営戦略・リスク管理へ反映するとともに、財務上の影響を把握・開示することを推奨している。

3 地域社会への貢献

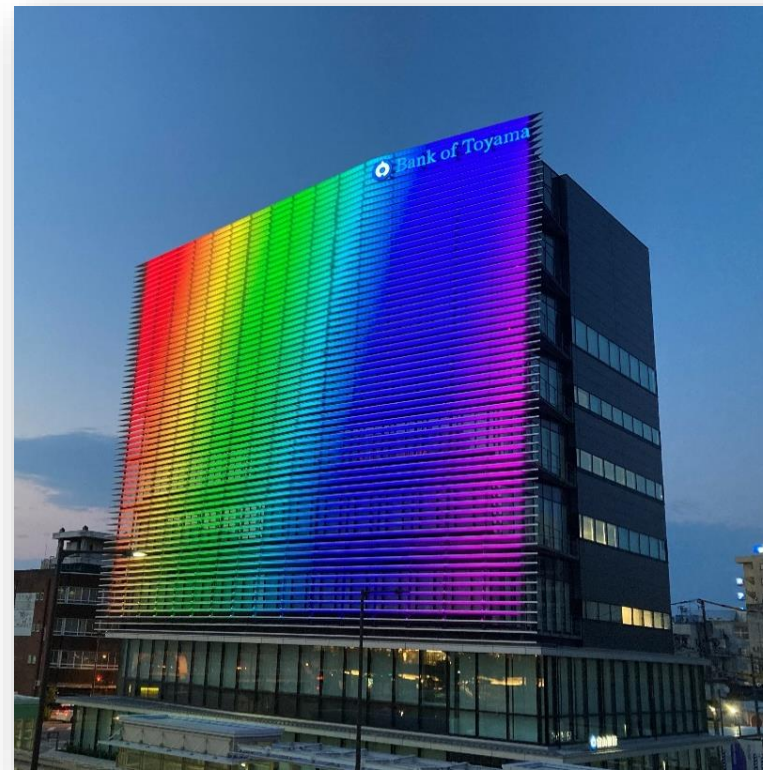
本店ビルのライトアップにより、地元高岡市の賑わい演出とSDGsへの取組みを発信



高岡御車山祭を
イメージしたライトアップ



「世界アルツハイマーデー」に
合わせたオレンジライトアップ



「たかおか SDGs DAYS」に合わせ
レインボーカラーにライトアップ

4 2026年3月期決算概要

4 業績概要

● コア業務純益

資金利益が増加する一方で、人的資本投資および設備投資等の経費増加から、

808百万円（前期比△235百万円）

● 経常利益

与信費用が減少したことから、

1,739百万円（前期比+526百万円）

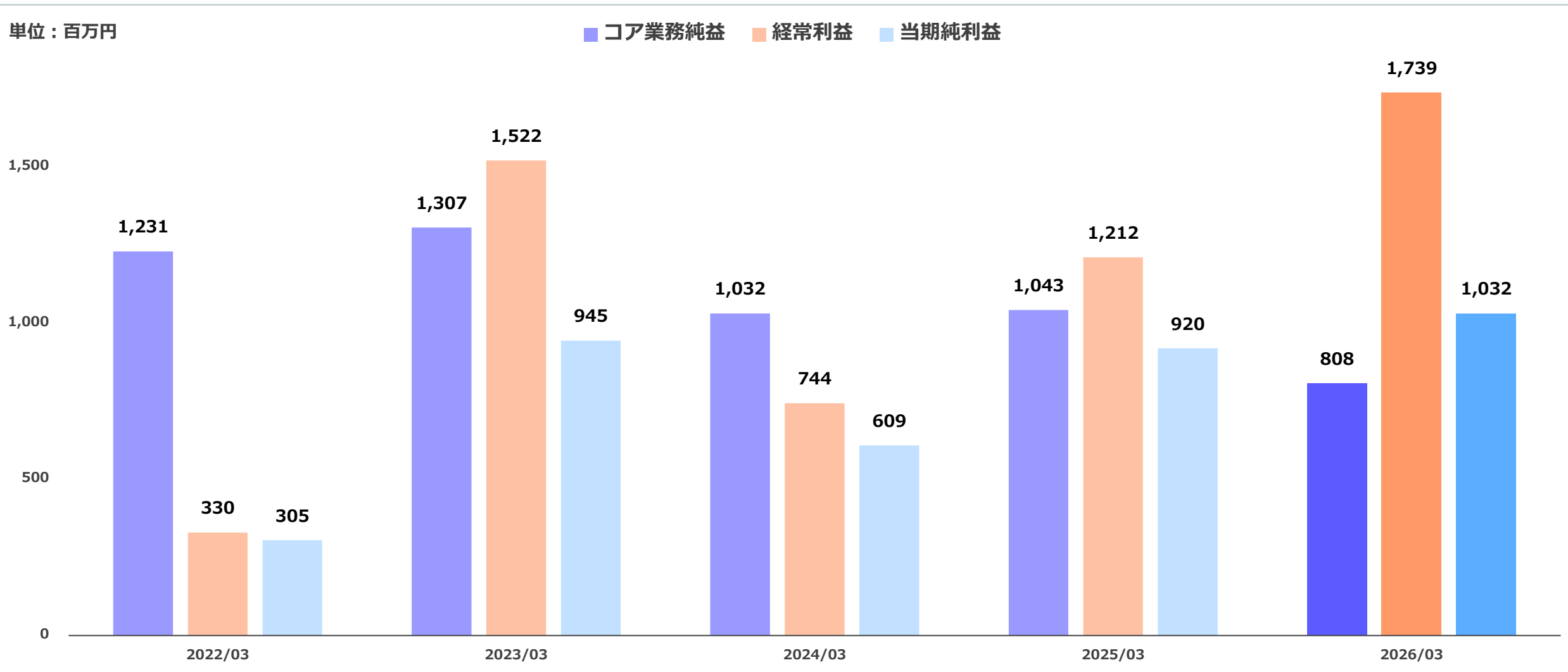
● 当期純利益

1,032百万円（前期比+111百万円）

損益状況 (単位：百万円)	2026年3月期	2025年3月期比	2025年3月期
経常収益	12,033	3,964	8,069
業務粗利益	3,271	△2,922	6,194
資金利益	5,581	196	5,384
役務取引等利益	815	△174	990
その他業務利益	△3,125	△2,944	△180
経費（除く臨時処理分）	5,598	259	5,339
コア業務純益	808	△235	1,043
一般貸倒引当金繰入額	—	△143	143
業務純益	△2,326	△3,038	711
臨時損益	4,065	3,564	501
うち不良債権処理額	—	△466	466
うち貸倒引当金戻入益	40	40	—
（貸倒償却引当費用）	△40	△650	610
うち株式等関係損益	3,680	3,117	563
経常利益	1,739	526	1,212
特別損益	△140	△136	△3
当期純利益	1,032	111	920

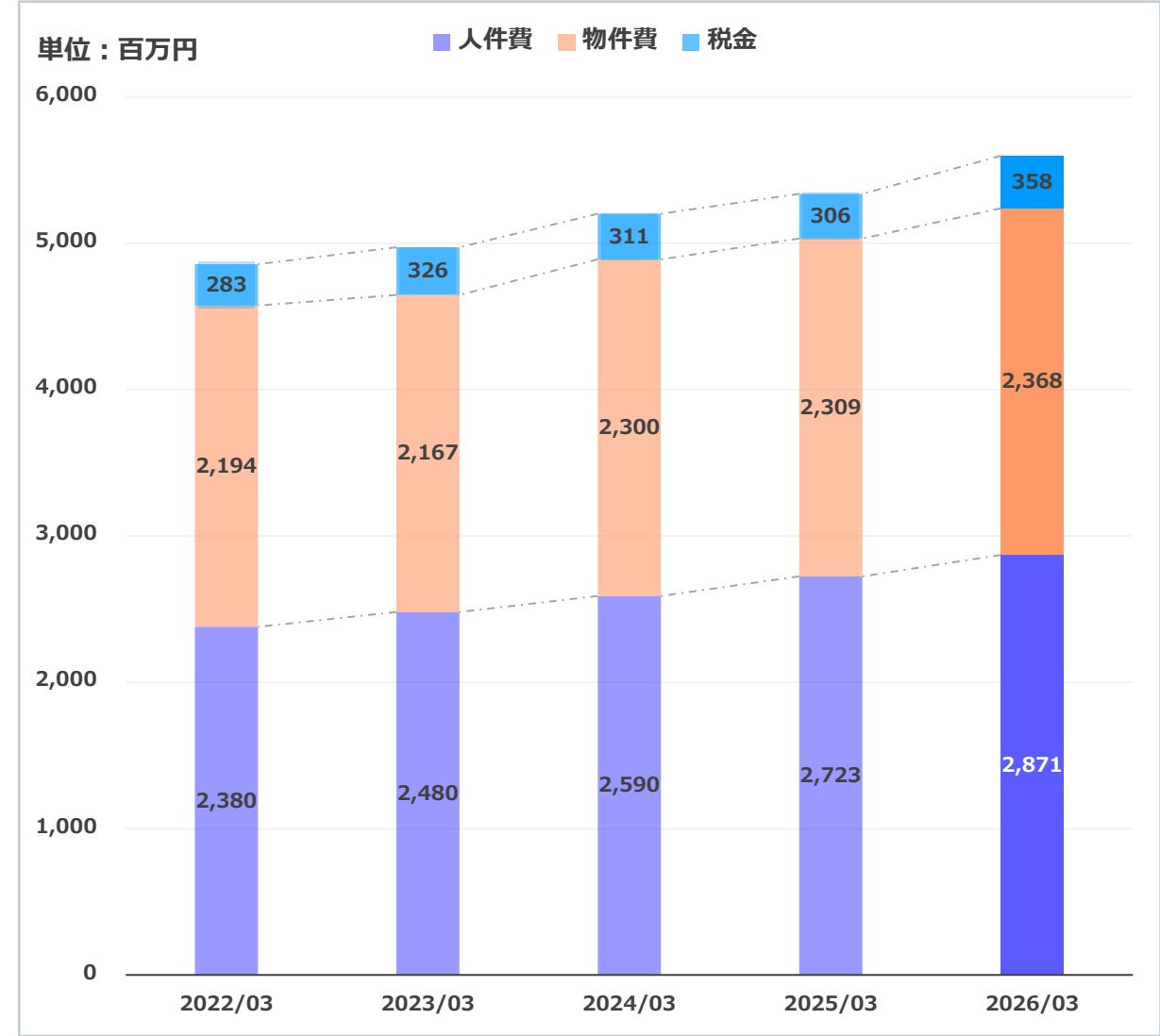
4 利益の推移

コア業務純益・経常利益・当期純利益推移

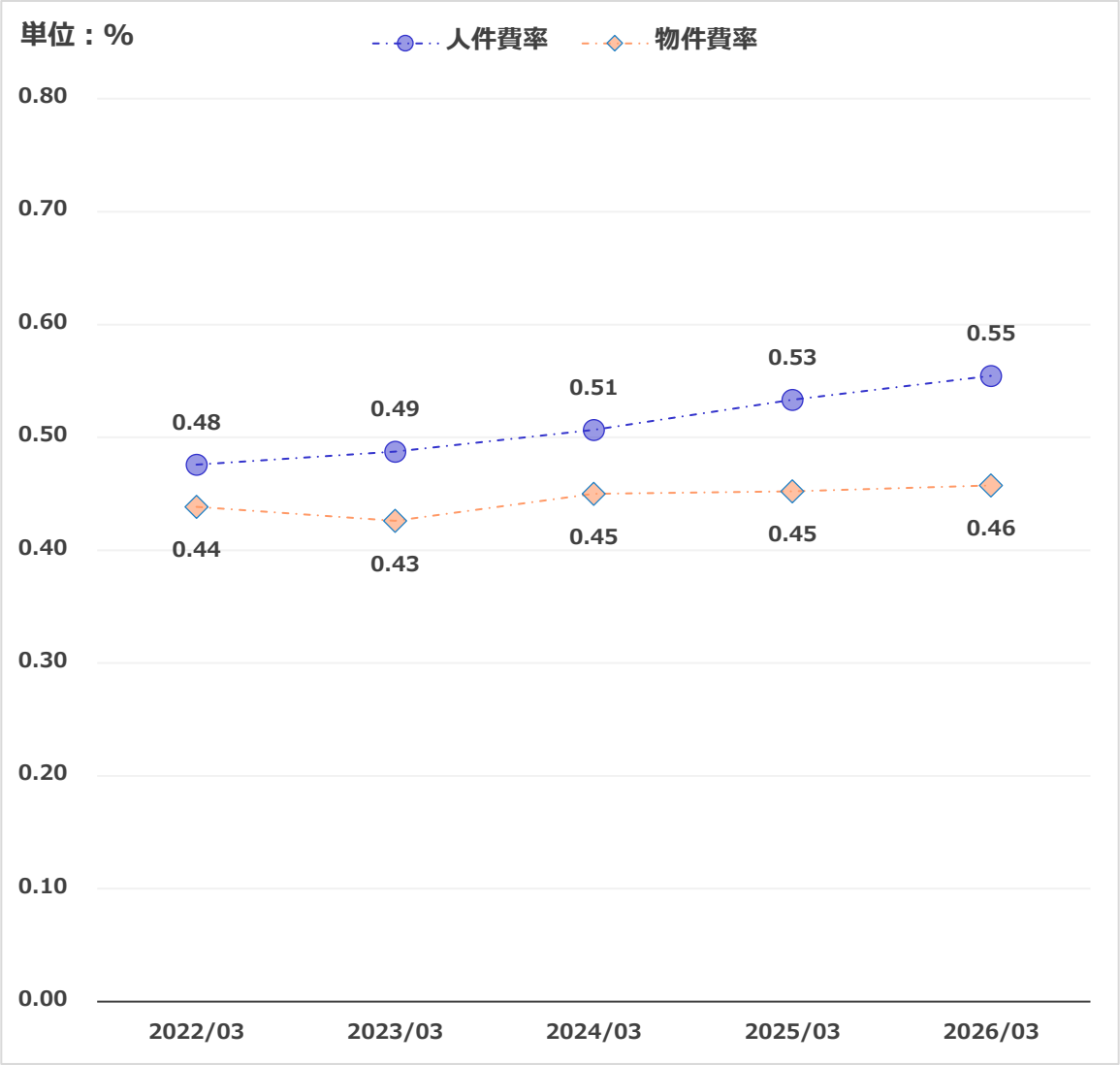


4 経費の推移

人件費・物件費・税金推移



人件費率・物件費率推移



4 資本金額・自己資本比率の推移

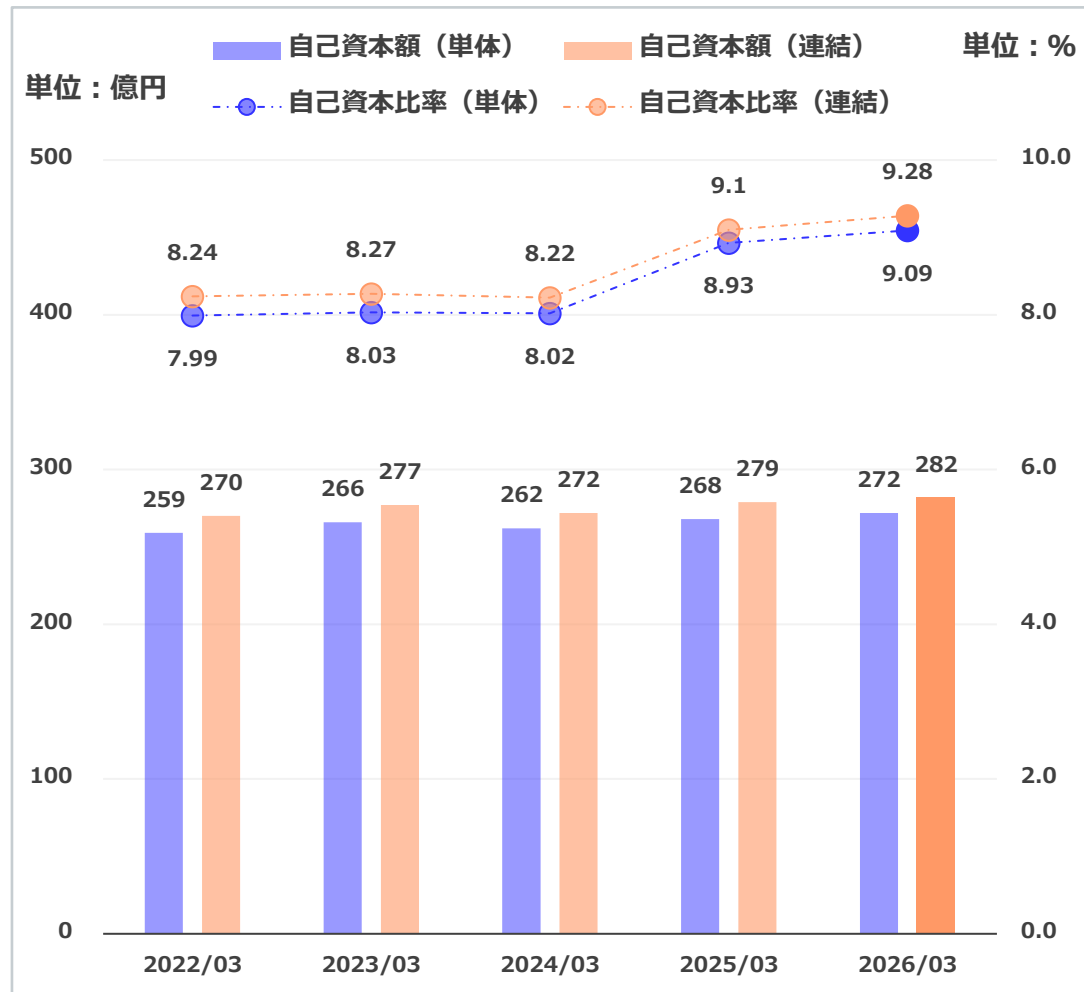
資本金額等推移 (単位：億円)

	2022/03	2023/03	2024/03	2025/03	2026/03
単体					
株主資本	247	254	257	262	271
自己資本額	259	266	262	268	272
リスク・アセット	3,241	3,312	3,275	3,006	2,993
連結					
株主資本	257	264	268	273	282
自己資本額	270	277	272	279	282
リスク・アセット	3,282	3,352	3,316	3,068	3,041

自己資本比率推移 (単位：%)

	2022/03	2023/03	2024/03	2025/03	2026/03
単体	7.99	8.03	8.02	8.93	9.09
連結	8.24	8.27	8.22	9.10	9.28

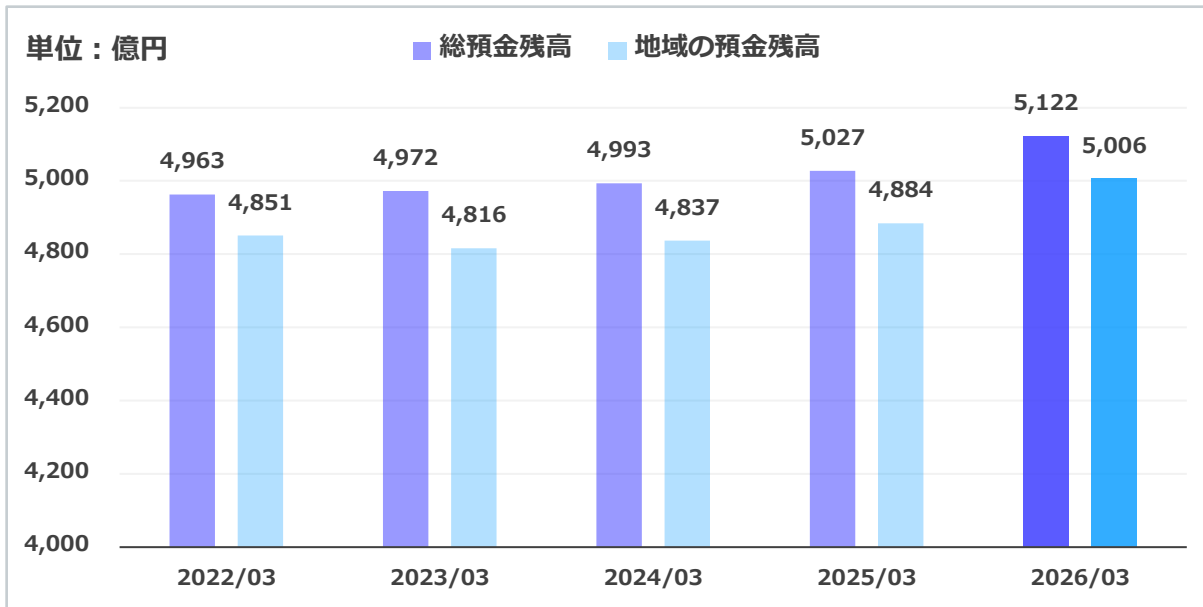
自己資本額及び自己資本比率推移



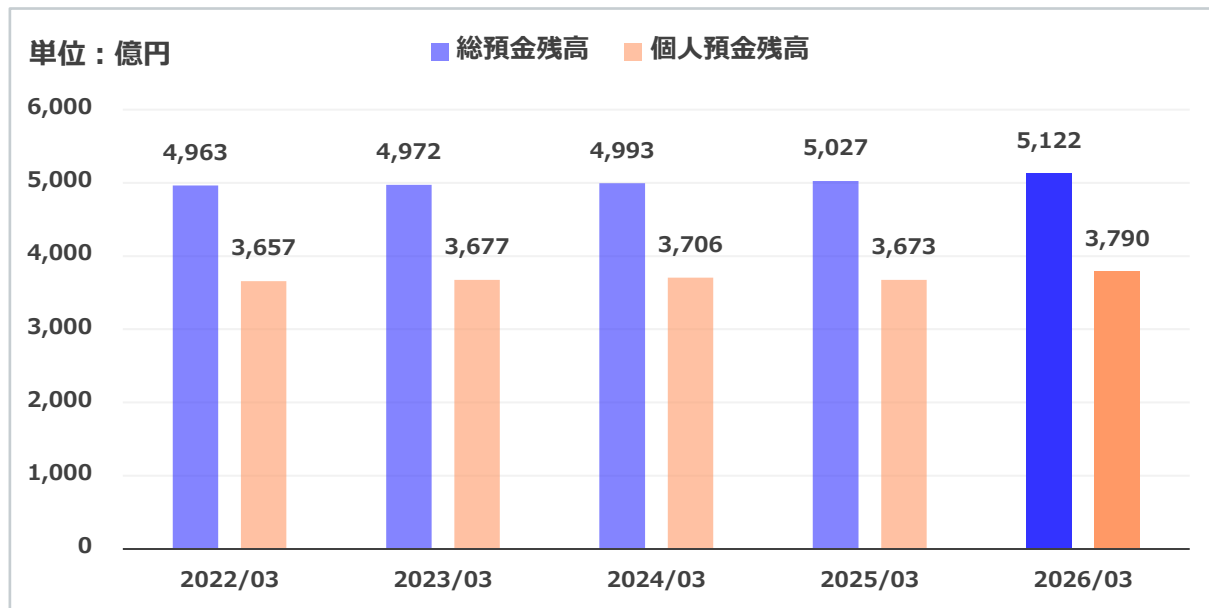
4 預金の推移

預金残高 (単位：億円、%)	2026/03	前期比	増減率	2025/03
総預金残高	5,122	95	1.88	5,027
個人預金残高	3,790	116	3.15	3,673
法人預金残高	1,332	△21	△1.55	1,353

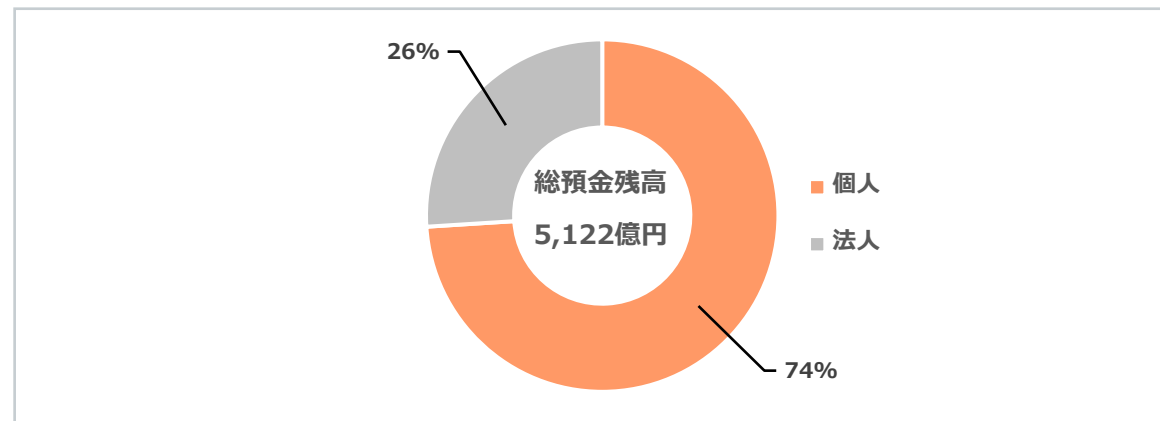
地域別預金残高推移



総預金・個人預金残高推移



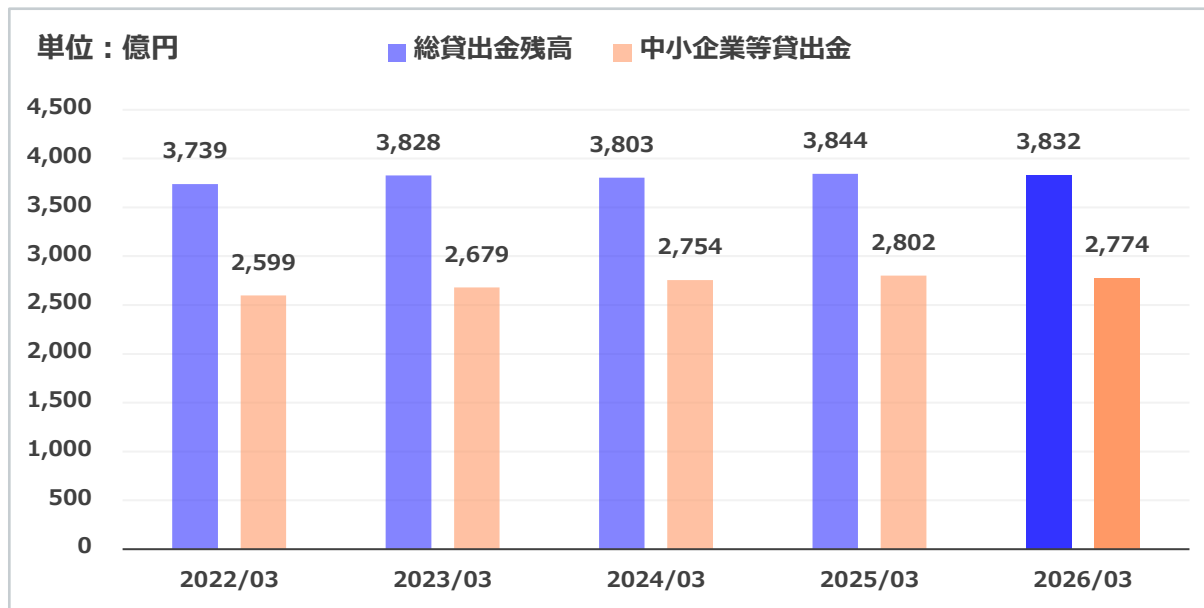
個人・法人別預金残高比率



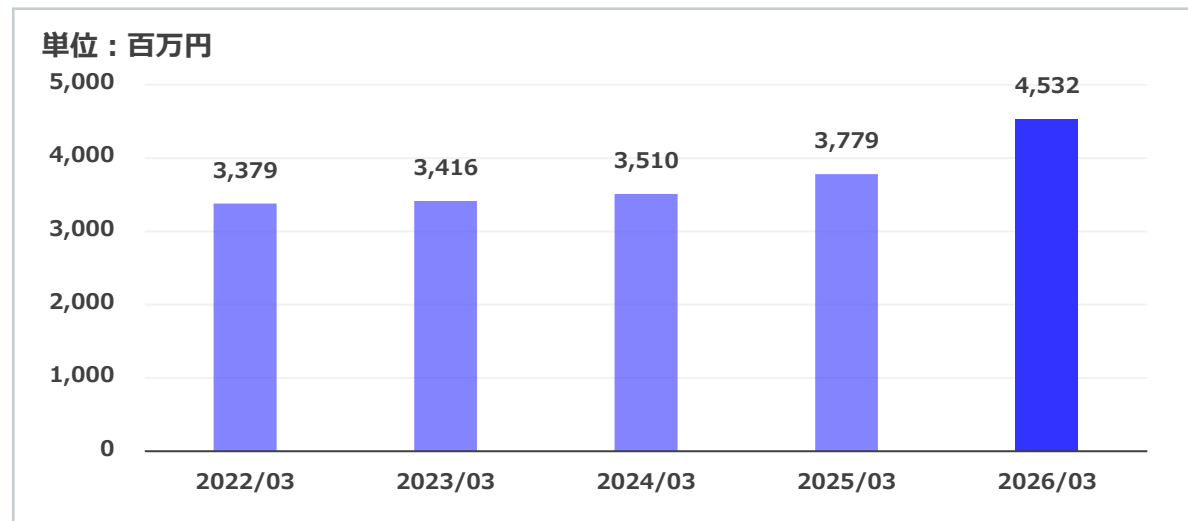
4 貸出金の推移

貸出金残高 (単位：億円、%)	2026/03	前期比	増減率	2025/03
総貸出金残高	3,832	△11	△0.28	3,844
中小企業等貸出金	2,774	△28	△1.00	2,802
中小企業等貸出金比率	72.38	△0.53	△0.73	72.91
消費者ローン残高	447	△3	△0.67	450

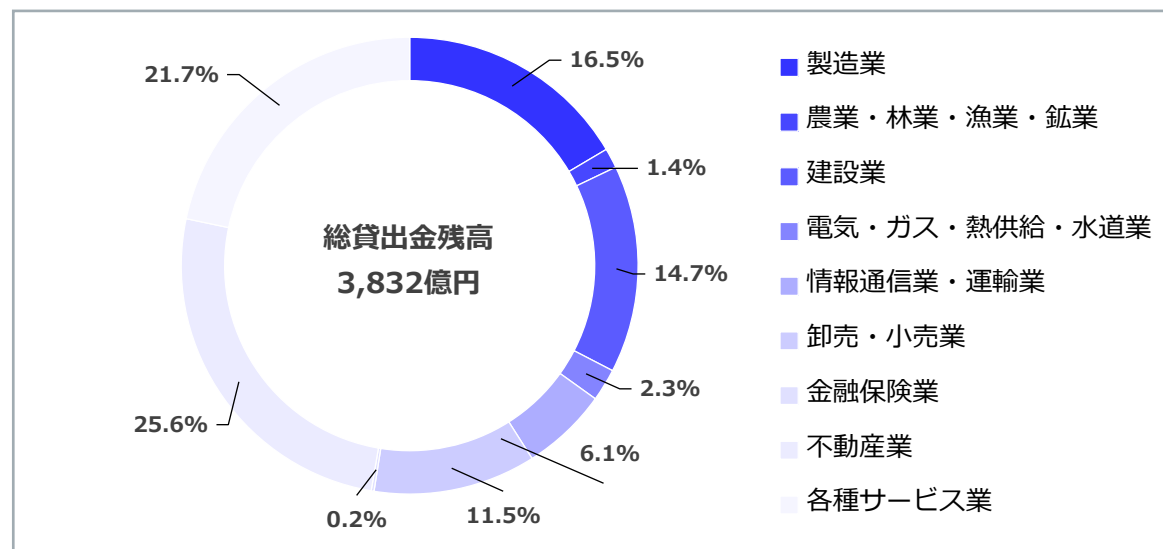
総貸出金・中小企業等貸出金残高推移



貸出金利息推移

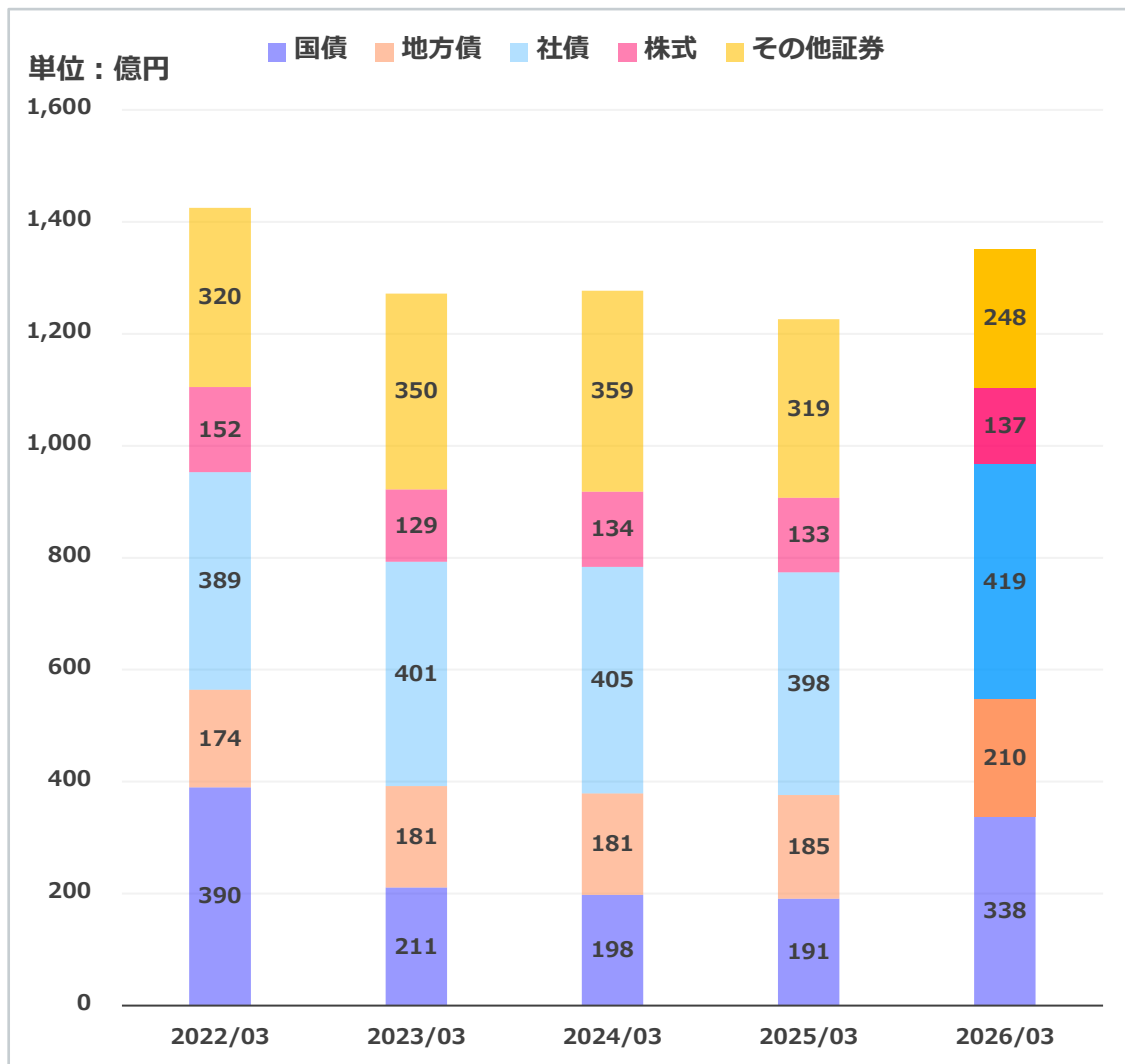


業種別貸出残高比率

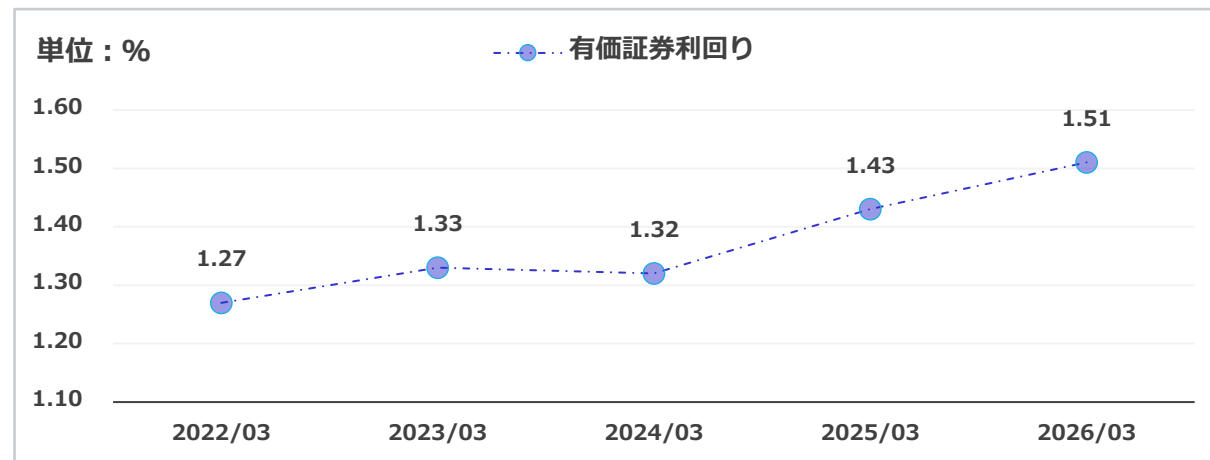


4 有価証券の推移

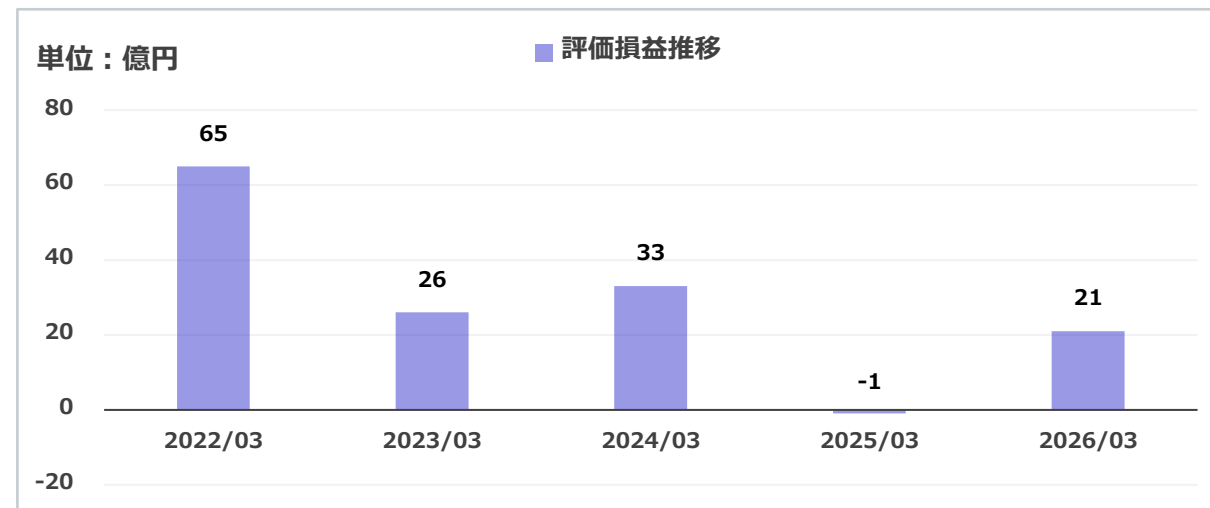
保有有価証券別残高推移



有価証券利回り推移



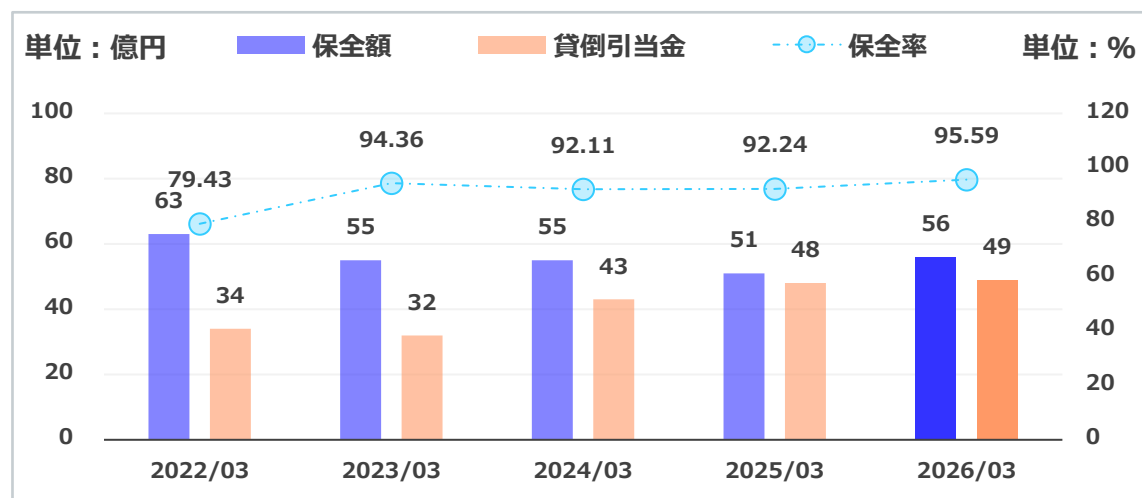
有価証券評価損益推移



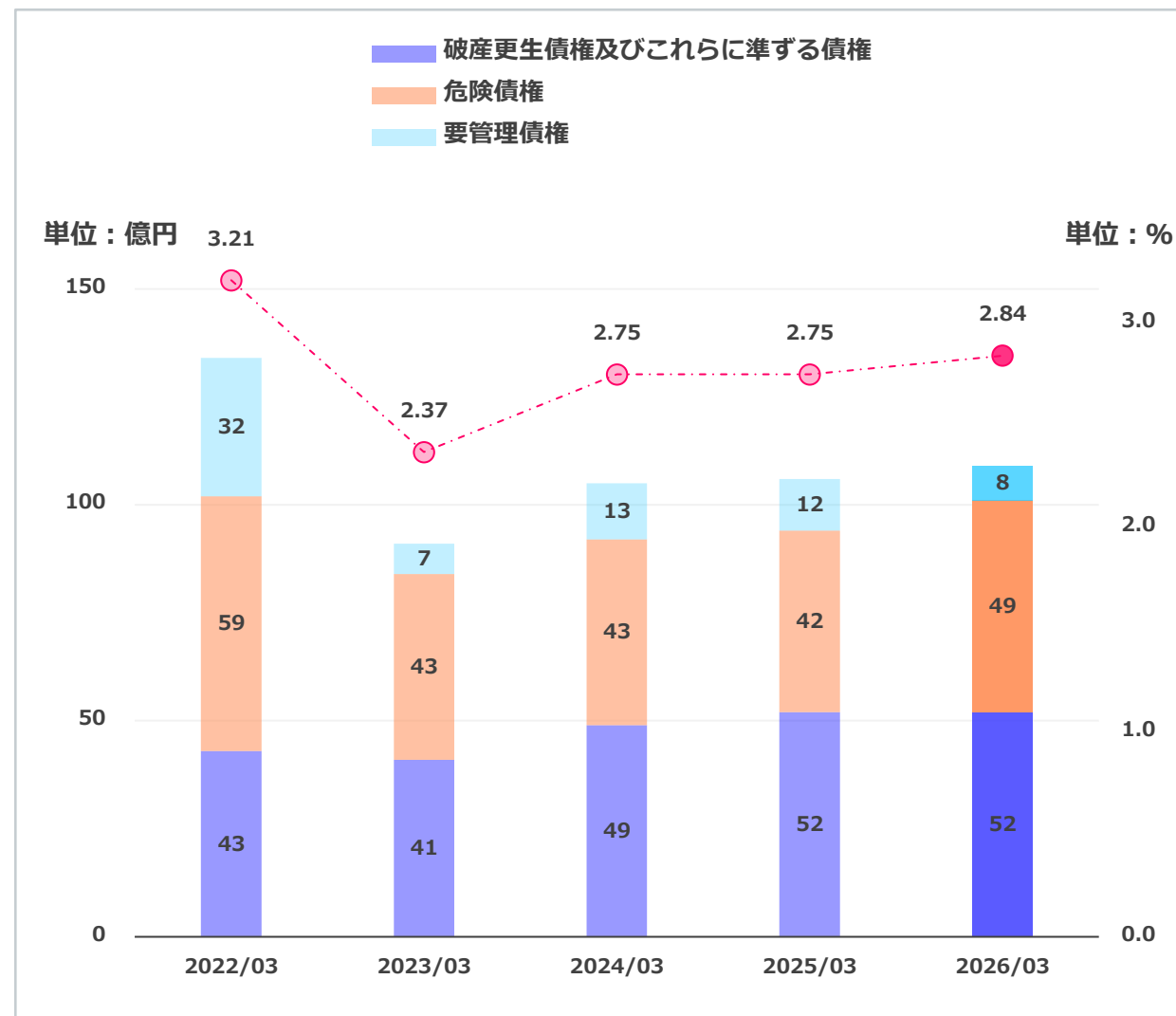
4 不良債権の推移

与信関係費用 (単位：百万円)	2026/03	前期比	2025/03
一般貸倒引当金繰入額	—	△143	143
不良債権処理額	—	△466	466
貸出金償却	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	—	△451	451
その他の債券売却損等	—	△15	15
特定海外債権引当勘定繰入	—	—	—
貸倒引当金戻入益	40	40	—
与信関係費用	△40	△650	610

保全額及び保全率推移



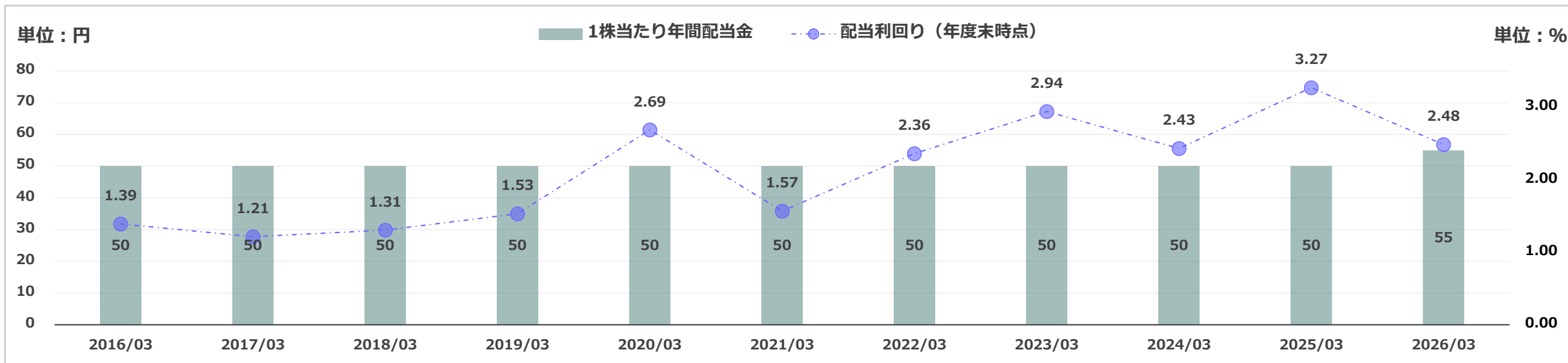
不良債権残高及び不良債権比率推移



4 株主配当の状況・推移

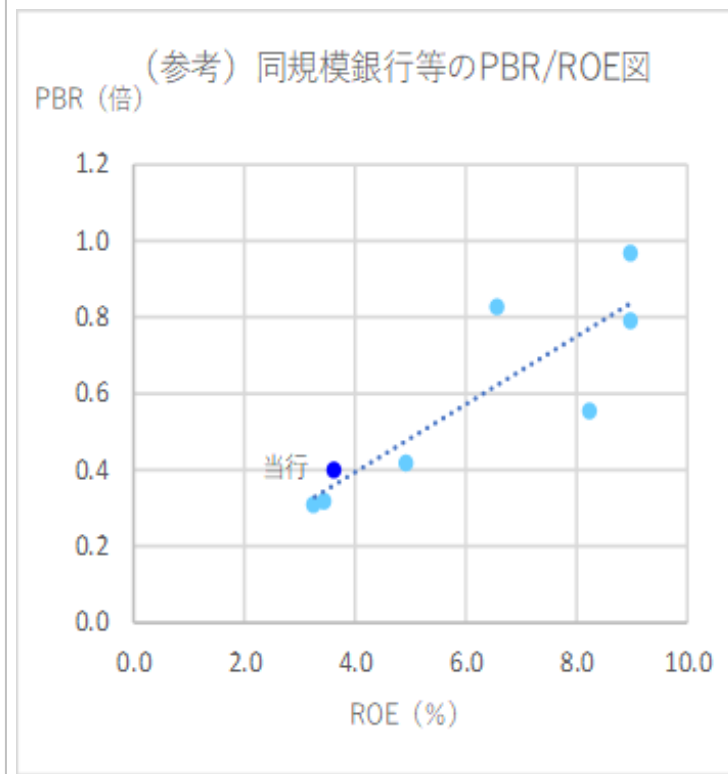
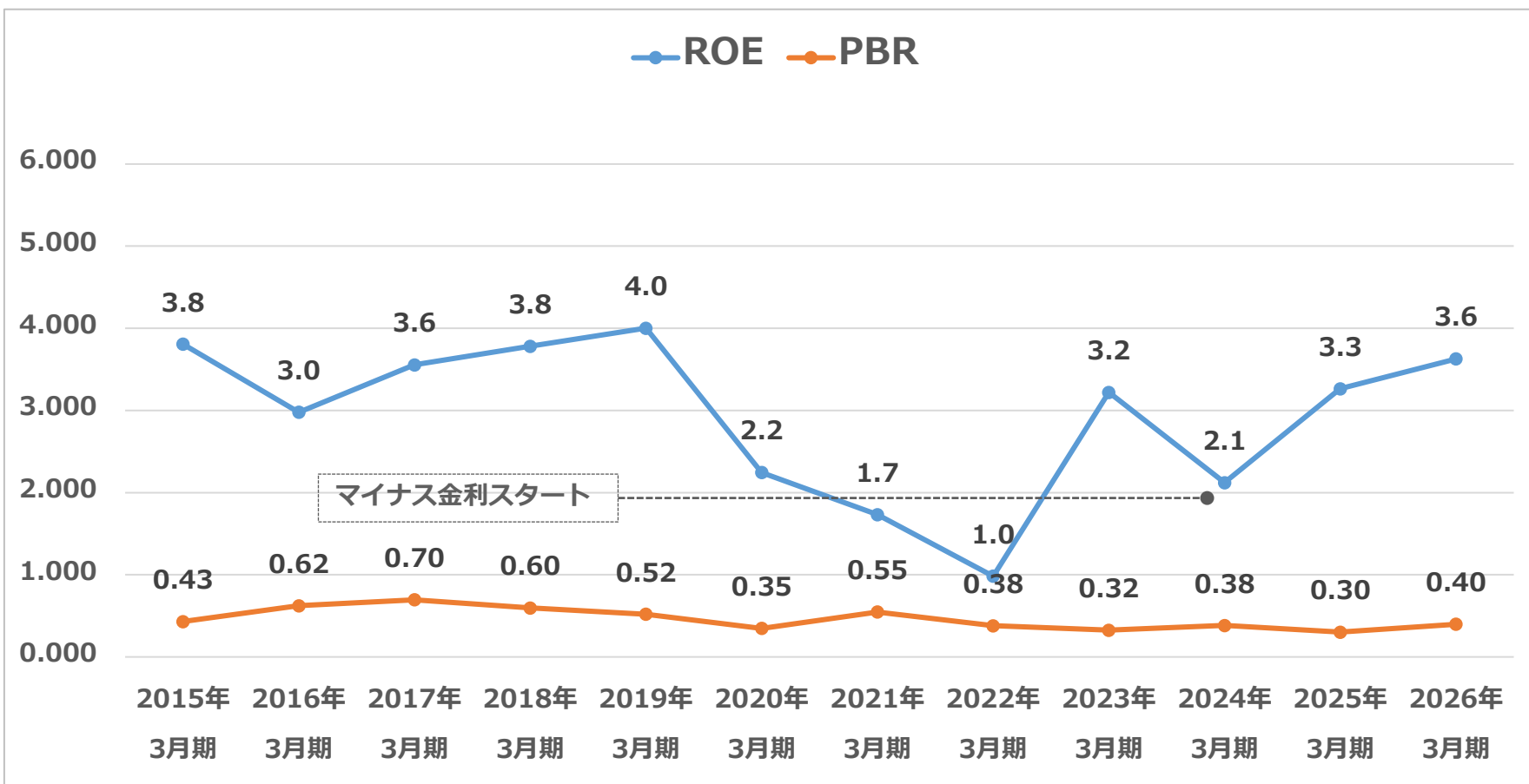
配当の状況	1株当たりの配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率	1株当たり 当期純利益	ROE
	中間期	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)	(連結)	(連結)
単位	円・銭	円・銭	円・銭	百万円	%	%	円・銭	%
2025年3月期	25.00	25.00	50.00	271	28.1	0.9	177.35	3.2
2026年3月期	25.00	30.00	55.00	293	28.0	0.9	196.31	3.5
2027年3月期（予想）	27.50	27.50	55.00	—	27.9	—	—	—

1株当たり年間配当金、配当利回り推移



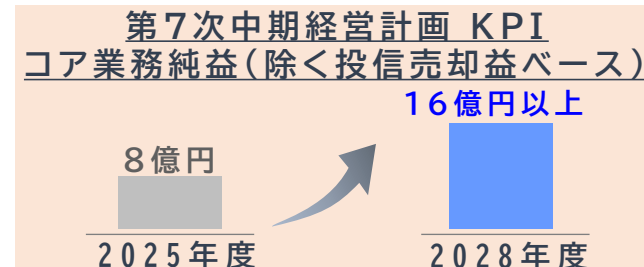
4 企業価値向上に向けた取組み～現状認識

- ・ 金融経済環境が大きく変化するなか、トップライン収益力の強化、効率的な経営の実践に取り組み、P B Rは0.4倍に上昇
- ・ R O Eの向上と株主資本コストの抑制（P E Rの向上）に向けた取組みに注力



4 企業価値向上に向けた取組み～PBRロジックツリー

- 第7次中期経営計画（2024年度～2028年度）遂行によるPBRの改善
 - 金利ある世界への転換を踏まえ収益構造を転換し収益力を向上させるとともに、自己資本水準の適正なコントロールによりROEの向上を図る
 - 地域金融力の強化を図り、地域経済を活性化し、持続的な利益成長を実現期待成長率を向上させ、株主資本コストの抑制を図る



PBRの計算式

$$\text{PBR} = \text{ROE} \times \text{PER}$$

$$= \text{ROE} \div \left(\frac{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}{\text{（広義の株主資本コスト）}} \right)$$

株主資本コストの現状認識

当行では、株主資本コストを7%程度と認識

2025年度末の株主資本コスト （CAPMに基づき当行独自で算定）	7%程度
--------------------------------------	------

（企業価値向上）
中計最終年
PBR0.5倍以上

ROE向上
（2026/3末：3.6%）
中計最終年：4.0%

広義の株主資本コスト
の抑制
（6%以下を目指す）

収益力の向上

×

自己資本比率の
コントロール

期待成長率の向上

・リスク・アセットの効率的な
入れ替え

・採算性を重視した取引推進に
より収益力の向上を図る

・財務レバレッジコントロール

・自己資本比率8%台維持

・本業を通じた地域貢献と
課題解決による持続的な成長

・非財務情報を含めた開示の充実
（環境配慮型経営、人的資本経営 など）



本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社富山銀行総合企画部 Tel : 0766-27-0156 Fax : 0766-26-1268 E-mail : sougoukikaku@toyamabank.co.jp

【ご注意】

- 本資料には将来の業績に関わる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取り巻く環境の変化等によるリスクや不確実性を内包しておりますことにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。